

特殊な一品物を彩る、 確かな塗装の腕



丸山塗装工業株式会社

関西最大級の乾燥炉による スピーディーかつ繊細な塗装

大型工作機械や金物等に、メラミン焼付けを中心とした様々な塗装を手がける丸山塗装工業。かつては純然たる職人の集まりだった「塗装屋」を、丸山和豊社長は「取引先ときちんと交渉のできる『組織』にしよう」と株式会社化。以来30数年にわたる実績を積み、現在、53名の社員を抱える企業へと成長させた。

同社が確固たる地位を築いてきたのは、家電製品を製造するための大型工作機械の塗装、中でも、特殊な一品物の塗装を手がけてきたことによる。しかし、例えばテレビ一つをとっても、年々、製品の大形化が進み必然的に製造機械も大型化する。当然、旧式の乾燥炉では対処ができなくなる。ここで同社は、「設備投資を続けた」のである。「企業として苦しい時期だったが、辛抱し

て設備を拡充させたことが、今につながっている」と丸山社長は振り返る。

現在同社では、関西最大級の乾燥炉に加え、大型天井走行クレーンを数台取り付ける等して、いかに大きく重量のある製品であっても、スピーディーかつ繊細な塗装を可能にし、顧客ニーズに最大限に応えている。また、所有する6台のトラックをフル稼働させることで、工場の移転にもない府外にも広がった商業エリアへのスピーディーな納品を実現。これらの企業努力が結実し、「ハイレベルな仕事をいただける会社になった」と丸山社長は語る。

下処理で 長期間美しい塗装を保つ

「どれだけ丁寧な塗装をしたかは1年経てばわかる」——素人にはわからなくても、プロが見ればその差は歴然だという。「うちでは下処理を丁寧にするので、傷が付かない限り、長期間、美しい塗装を保つことができる」と話す丸山社長。たとえば「見た目でわからなくても、触れば滑らかな手触りがし、違いを実感できる」と強調する。

こうした質の高い塗装は、たとえば塗料が時代と共に進化しても、最終的には「職人の腕」に左右される。それゆえ、各技術者のレベルアップは同社の根幹を成す重要課題。社内での技術教育や技術伝承に加え、大学で教鞭をとる専門家を招き、定期的に研修会も行っている。「私は地方出身で、叩き上げてこ

ここまでやってきた。創業以来37年間、ずっと大阪に支えられてきた」——丸山社長のこの思いは、若年層だけでなく高齢者も含め、できるだけ近隣から採用をするという同社の方針に表れている。そのため社員には「技術を身につけ、地域のためにも貢献してもらいたい」と語る。これからも、丸山社長の思いを受け継いだ技術者たちにより、大阪の街は美しく彩られるに違いない。

主な事業内容

電気機器、理化学機械の外装塗装に関する業務、各種工作機械の塗装に関する業務、一般建築金物に関する塗装、前各項に付帯する一切の業務等



丸山和豊さん
代表取締役

Company Profile

丸山塗装工業株式会社

住所 / 〒571-0045
大阪府門真市殿島町14-13

創業 / 昭和46年 4月

設立 / 昭和56年 4月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 53名 (平成21年1月現在)

TEL / 06-6909-8161

FAX / 06-6909-3876

大阪
17

<http://www.maruyama-tosou.co.jp/>